

修学支援調査に寄せられた意見等への主な対応状況

平成27年度に実施した修学支援調査において、多くのご意見、要望等をいただきました。これらについて、大学の対応状況を取りまとめましたのでお知らせいたします。

事項	意見等	対応状況
施設・設備・課外活動等	建物の定期清掃、メンテナンスの充実 トイレの清掃強化	平成28年度より定期清掃を実施しており、メンテナンス等臨時対応が必要な場合は早急に対応しています。
	部室棟の整備・増設(部室不足の解消)	平成29年度中にプレハブ部室の移設により増設を予定しています。(品川)
	講義棟側の喫煙場所の移転	大学会館グラウンド側の喫煙場所から大学生協と道を挟んだグラウンド側へ、平成28年12月より正式に移転しました。(品川)
	戸田艇庫の増改築の進捗状況確認	施設新営工事は平成29年度に竣工の予定です。
	サークル活動への理解、支援等	平成29年度にサークル備品購入費として大学基金から援助しています。(越中島)
学生寮	留学生のマナーの改善が必要	平成28年度より学生寮の留学生生活支援相談員制度を導入しています。
	寮の増設が必要	平成28年度に留学生の居住環境を改善するため借上寮を導入し、平成28年10月に15室を増設しました。また、平成29年度は学生寮の将来計画を混住型新寮等検討チームにおいて検討を行い、その結果を学長に報告しています。
	留学生枠を増やして欲しい 日本人枠の維持	上記の借上寮の増設に伴い、学生寮の定員枠の見直しを実施しました。
	選考基準の緩和、明確化、案内の改善等	平成28年度に選考基準を見直し、手続きの簡素化および明確化を図っています。
教育	英語教育の充実	平成26年度以降の入学生については、TOEIC関連の授業科目を開講し、英語教育の充実を図っています。平成28年度については、3年次科目「TOEIC演習」を開講しました。(品川) 平成29年度より英語系授業のコマ数の見直しを行っています。(越中島)
	留学への情報提供の充実	平成27年度末に留学の手引きを更新し、Q&Aを充実させています。平成29年度からは国際関連事務の統合を予定しており、情報提供の一層の充実について引き続き検討しております。また、キャンパス間の対応に差が出ないよう、平成28年7月に越中島地区事務室学生サービス係の担当者にも交換留学制度の概要説明を行うとともに、内容に応じて留学生係が越中島の学生に直接対応するようにしました。
	教免(中等)の取得できる単位(授業)の開講	平成29年度から新たに設置された、海洋資源環境学部については、中学校一種「理科」の教員免許が取得できるよう、課程認定を申請し認められました。ただし、遡及して課程認定を受けることはできないため、現海洋科学部及び海洋生命科学部は中学校一種「理科」の課程認定を有してはならず、中学校一種「理科」の免許を取得することはできません。(中学校「理科」免許を取得できないことについては、募集要項等入学前の段階で周知しております。)
	授業科目の充実等	平成29年度から海洋生命科学部及び海洋資源環境学部において、専門性及び授業科目を充実させるため、カリキュラムの整理を行っています。
	単位認定等の評価の公平性の確保	成績評価の厳格化を目的として、平成27年度から定期試験答案の返却や解説等の取組を開始しました。また、シラバスへの成績評価基準の記載や記載内容のチェックを行い、学生にあらかじめ成績評価基準が示されるようになっています。
	板書等の改善	平成28年度から、全学で、総合ポータルシステム(Live Campus)を導入し、授業に必要な資料・レジュメを教員がシステム上にアップロードすることで、学生はシステムからダウンロード可能となり、板書を補うだけでなく、電子データとして活用できるようになりました。
	取得単位数上限の見直し	平成29年度からの海洋生命科学部及び海洋資源環境学部では、3・4年次における前学期及び後学期に履修登録可能な上限単位数を30単位から40単位に変更しました。(なお、年間の上限単位数については、60単位で従前のとおりです。)
授業科目割り振り等の見直し	平成29年度からの海洋生命科学部及び海洋資源環境学部において、カリキュラムの整理を行いました。	

事項	意見等	対応状況
教育	ガイダンス等における説明の充実	教職、学芸員、海技免許関連については、随時ガイダンスを行っています。また、学務システムの更新等、学生にとって重要な事項については、説明会を開催し周知を行っています。
	夏・冬・春休み等の時期の見直し	平成29年度からの全学統一学事歴の採用及び4学期制の導入を決定し、休暇期間の時期の見直しを行いました。
	教員の対応が理不尽でないこと	平成29年度にFD(ファカルティ・ディベロプメント)部会を設置し、FD活動(大学教員の教育能力を高めるための実践的方法。例として、大学教員の倫理規程と社会的責任の周知等)について今後検討を行っていく予定です。
教員・窓口対応	講義情報(休講等)及び成績開示などのネット対応	平成28年度から学務システムを更新し、休講等の通知及び成績の開示をシステム(Web)上で行うことができるよう改善しました。
	周知方法の改善(迅速・明解等)	授業料免除申請書をWebで取得可能にしました。学務システムの活用。速やかに通知しています。
	証明書発行機の増設等	平成28年度から証明書自動発行機の台数を1台増設しました。(品川)
	履修登録等システムの改善	平成28年度から学務システムを更新し、学外からも履修登録ができるよう改善しました。
	経済支援策の充実	修学支援事業基金が設立され、平成29年度より経済的な理由により修学に困難がある学生の支援を行っています。
	就職支援窓口職員の対応改善	情報リテラシー等の授業の際に就職支援職員が、学生への登録依頼を行うなど、情報提供に必要な登録の機会を増やしています。
	就職情報の充実	求人票・掲示版閲覧システムでメール配信を行い、就職関連情報の提供しています。求人票・掲示版閲覧システムの操作方法に関するマニュアルを作成しました。
	健康管理業務の充実	健康診断の会場を楽水会館、中部講堂の2会場に設置し、各種検査の混雑緩和を図りました。
	大学祭や自治会への大学の協力の充実	各学生団体と連携し、事故防止に係る説明会を実施しています。
英語版での情報提供の充実	授業料免除書類の一部英文化、オリエンテーション及び学生寮手引きなどの英語化を行っています。	
その他	大学知名度の向上	東京駅、羽田空港、大船渡線において、大学広告を設置(掲出)しました。また、新聞やタウン誌、施設紹介冊子類等各種雑誌に掲載しました。さらに地域イベント、コンベンションイベントに積極的に出展するなど本学知名度向上に努めています。 入試広報としては、ガイドブック(大学案内)を作成し、全国の主な高校、予備校に配付するなど、或いは、予備校ホームページにバナー広告を出すなどの広報展開を行っています。
	PC及びPC周辺機器の改善等	平成28年3月に教育用PC及び周辺機器を更新しました。
	Wi-fi環境の改善	平成28年8月に学内設置のWi-fi環境を更新して、利用エリアを拡大しました。また、Eduroam(高等教育機関や研究機関等における国際的に相互利用が可能なローミングサービス)を導入しました。
	公式ホームページの改善	平成28年度に、大学公式ホームページを全面リニューアルを行いました。同時に、スマートフォンでも対応できるよう改善を図りました。 今後、ホームページを英語版に対応すべく改善を行っています。併せて、随時、利用者の意見を聴きながら、より利用しやすい環境に改善を図っていくこととしています。